**春ＧＰ　５月８日議事録**　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　担当：国広

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　１２：３０～＠473教室

メンバー：chエリ（HAPPYBIRTHDAY！）、ゆづにゃん、ＰＯＮ、さきな、ゆーし、あんな

**宿題発表**

（割り当てられた箇所の深堀、考えてきた論の方向性の報告）

＜橋本班＞

えり＆ゆづ：・大阪市教育基本振興計画　改革の方向性

　　　　　　・マネジメント改革（校長のリーダーシップ／公募制度）

あんな：ガバナンス改革　・民間（幼稚園の民営化）

　　　　　　　　　　　　・広域行政（市立高校・市立特別支援学校、それぞれの一元化）

ゆーし：「橋本教育改革」問題点　・首長機能の強大化

　　　　　　　　　　　　　　　　・教育格差拡大

＊橋本教育改革におけるマイナス面

橋本教育改革は、　上位伝達の教育行政⇒校園長がマネジメント　というもの。

それには、　地方教育行政における首長権力の拡大が行き過ぎになる可能性

　　　　　　　　　　　　　　　　　↓

さらにそこから「教育格差」が拡大する恐れ

＊橋本教育改革におけるプラス面

・機能していない教育委員会への批判（大きくは教育行政への批判）

・国際競争下における「教育の質」の向上

⇒「教育の政治的中立性の下に聖域下されてきた教育行政の民主化」

論の方向性（ゆーし）

教育界の無機能が問題になっていることは間違いない（大前提）

　　　　　　　　　　　　　↓

この問題に対して橋本は教育改革を掲げている

BUT

そこには様々な問題が

・首長権力の拡大が行き過ぎる可能性（ex君が代）

・教育格差拡大

⇒こうなってるのはなぜ？

⇒「橋本は、教育界へのアレルギーが強すぎていて、政治のアピールをすることに重きを置いてしまっているのではないか」的な仮説にもっていく

＜推薦入試班＞

みなみ、ぽん、さっきーな

論の方向性

１．東大が推薦入試を導入しようとしている

　　その目的は「世界の大学との競争に打ち勝つための国内外から優秀な学生を集める」

　　方法：センター入試の点数＋大学院の授業についていけるほどの高い学問知識＋各学校から１・２名の選抜

２．推薦入試制度を導入することでその目的は本当に達成されるのか（問題意識）

３．現在、日本で実施されている推薦入試制度、またそれらが抱える問題点を挙げる→様々な種類があり、その目的なども少しずつ異なっている（どのような学生を求めているかなど）

　　→制度によって問題点も異なる

４．しかし東大の推薦入試制度はこれまでの日本で行われてきたものと違うようだ

　　東大が導入を検討している制度は日本の推薦入試制度が抱えている問題を克服できるのだろうか

５．東大の想定する推薦入試制度と似ているアメリカの推薦入試制度を見ていこう（暫定）

＊その他資料

・日本の戦後入試制度について

・入試制度の分類について

・東大の推薦入試導入をどう扱うかについて

・比較国について

・現在の学力検査以外の推薦入試制度の動向について

・東大が求める学生像について

・アメリカの推薦入試制度について

**議論結果**

橋本班・・・今までになかったＧＰになりそうだが、かなり絞られたテーマになるために資料がとても少なく、困難が予想される

推薦入試班・・・班員の高い興味関心が集まる。資料が豊富なので、様々な方向性が考えられる。

⇒テーマは推薦入試に決定

**宿題**

明日（５月９日）までに、どの推薦入試制度（東大推薦入試、ＡＯ入試、一般公募推薦、指定校推薦とか）についてみていきたいか、各自考えてラインで共有。その後、話し合いで水曜日までの宿題を決定予定。

備考

ちゃんえりのお誕生日ケーキをタリーズに買いにゆく（担当：ゆーし、ゆづ、あんな）

ろうそくはありませんと言われる。残念。

パンケーキ持ち帰れますか？

無理ですと言われる。残念。

でもちゃんえり、ティラミスっぽいし結果おっけい！

と、いうわけで、着々と親睦を深めているもののチーム名決まらず。残念。